

Autumn みほとつたよ!

阪神電気鉄道 高架下を「野菜栽培所」に

阪神電気鉄道株式会社では、高架下の未利用地を有効活用しようと、2012年1月、阪神本線大物一杭瀬駅間（尼崎市）の高架下に「阪神野菜栽培所」を開設した。

工場の延床面積は約176㎡で、完全人工光型の水耕式無農薬栽培の設備でグリーンリーフレタスを栽培している。1日に約300株の収穫があり、阪神百貨店地下食品売場などで販売するほか、阪急・阪神沿線を中心に展開するコンビニ「アズナス」のサラダや「ジュースデリマメカ」のフレッシュジュースに使用している。

商業施設や駐車場に使われることが多い高架下だが、阪神電鉄のこの土地活用は、「消費地に近い」地の利を生かした新しい地産地消の取り組みとして注目されている。尼崎市でつくった野菜を、鮮度の高いうちに阪急阪神沿線で消費する。同工場では、このグリーンリーフレタスを手始めに他品目の栽培も検討しているという。



1 阪神電鉄が高架下に開設した野菜工場「阪神野菜栽培所」 2 既存の賃貸建物を活用している 3 「阪神野菜栽培所」のオリジナル・シール



1 左から「ひこぼしくん」、「ひこぼしくん」デザイン考案者の松川文香さん、枚方市・竹内市長、交野市・中田市長、京阪電鉄・加藤社長、枚方市議会・三島議長 2 私市駅で出会った「ひこぼしくん」と「おりひめちゃん」 3 「ひこぼしくん」と「おりひめちゃん」がデザインされたラッピング電車

京阪電気鉄道 「七夕の出会いイベント」を開催

京阪電気鉄道株式会社と枚方市・交野市は、三者による地域活性化連携の第1弾として、7月7日（土）、「織姫☆彦星 七夕の出会いイベント」を実施した。イベントは、枚方市のキャラクター「ひこぼしくん」が京阪電車交野線に乗って交野市のキャラクター「おりひめちゃん」に会いに行くというもの。「ひこぼしくん」「おりひめちゃん」がデザインされたラッピング電車は、当日から8月下旬まで運行された。

交野市の「織姫神社」に祭祀される織姫と枚方市の「観音山公園」にある牽牛石（牽牛・彦星）は、年に一度、七夕の日に両市を流れる天野川（天の川）の逢合橋で出会うと伝えられている。この「七夕伝説ゆかりの地」である枚方市・交野市と、天野川に並走する交野線を運行する京阪電車が、両市と同線を「七夕伝説 出会いのまち」としてPR、地域の活性化を推進していく。三者は、七夕といえば「枚方市・交野市」「京阪電車交野線」を連想してもらえるように、今後も魅力創造・発進に連携して取り組んでいくという。

京王電鉄 「調布駅」など地下3駅の運用開始

京王電鉄株式会社は、8月18日（土）終電後から翌日朝にかけて、調布駅付近連続立体交差事業における地下線化切り替え工事を実施した。同事業は、京王電鉄が東京都、調布市と2003年から進めているもので、京王線柴崎－西調布駅間と相模原線調布－京王多摩川駅間、計3.7kmを地下化し、18カ所の踏切を廃止する。この日の切り替え工事は、上下線同時に3カ所の線路と、国領・布田・調布駅の駅舎の切り替えを行い、作業員のほか、お客さま誘導・運転関係を含めて約5000人が動員。19日（日）午前9時25分に、地下3駅の営業を開始した。地上の線路やホームなどは2015年3月までに撤去する。

新しい国領駅、布田駅のホームは地下1階。京王線で新宿駅に次いで乗降人員が多い調布駅は地下3階に上り線、地下2階に下り線を設置し、ホーム幅も地上駅の約2倍の広さに拡張して京王線・相模原線乗り換えの利便性を向上させたほか、両線の平面交差を解消した。そのほか、3駅には京王電鉄初の試みとしてホームドアを設置、ホームの安全性向上を実現している。



1 あらかじめ建設していた地下トンネルと地上線とを上下線同時に接続した大規模工事 2 調布駅の上り線ホームに到着した一番電車 3 地下トンネルの出入口となった柴崎-国領駅間



1 僧侶が心得や方法を指導する写経体験 2 世界遺産・高野山を体感できる「高野山カフェ」のオリジナル精進料理 3 南海高野線のデッキ付展望列車「天空」

南海電気鉄道 「高野山カフェ」 in 丸の内ハウス

南海電気鉄道株式会社と高野山真言宗総本山金剛峯寺が共催するイベント「高野山カフェ」。今年も8月31日（金）から9月9日（日）までの10日間、「敷居は低く、でも中味は本物を」をコンセプトに、東京駅前・新丸ビル7階フロアの丸の内ハウスで開催された。

2007年から毎年開催、丸の内での開催は今年で3年連続となる「高野山カフェ」。東京で世界遺産・高野山を体感できると人気を呼んでおり、コアなファンも少なくない。

ゆっくりと回遊すれば少しずつ高野山に近づいていく——そんなイメージでディスプレイされた丸の内ハウスのフロア。九つの飲食店はそれぞれに工夫を凝らしたオリジナル精進料理を提供、訪れた人はさまざまなメニューを楽しんだ。また、高野山の僧侶が指導する体験講座で自由参加の「写経体験」や今年の新企画「僧侶と語らナイト」には多くの人が訪れ、事前予約が必要な「阿字観（瞑想体験）」や「仏像講座」などの講座もすべて満席となる人気ぶり。本格的な仏教体験を堪能した。